

# 産地戦略

実施期間 令和6～7年度

実施主体 岡山県  
都道府県 岡山県  
対象地域 勝央町  
対象品目 ぶどう



## 新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	● 温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

## 目指す姿

せん定枝を活用したバイオ炭を使い、炭素固定による環境負荷低減を図る。

ロボット草刈り機導入による除草の省力化を図る。

産地の魅力を高めて、担い手確保に資する。

## 現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名		新梢管理	花(果)穂管理、袋掛け			収穫調整出荷					せん定		
技術名								土づくり				せん枝焼却	

## グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名		新梢管理	花(果)穂管理、袋掛け			収穫調整出荷				せん定			
技術名								バイオ炭活用土づくり				バイオ炭作製	

## グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R5	目標R12	備考
(参考) 対象品目の作付面積 (ha)	17.7	► 18.6	
グリーンな栽培体系の取組面積 (ha)	0	► 1	
環境にやさしい栽培技術の取組面積 (ha)	0.1	► 1	
省力化に資する技術の取組面積 (ha)	0.3	► 1	

## 環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

### 〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境	堆肥やパーライト等を使った土づくり	► 堆肥やバイオ炭等を使った土づくり	二酸化炭素の貯留
省力	草刈機を使った除草	► ロボット草刈り機を使った除草	除草時間の削減

### 〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
			►	

\* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する  
(有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする)

\* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

## グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

講習会、部会総会で積極的な取り組みを推進する。

## 関係者の役割

関係者名	勝英農業普及指導センター	勝央町ぶどう部会	J A 晴れの国岡山勝央アグリセンター
役割	・取組目標達成に向けた進行管理 ・マニュアルを活用した技術普及	・取組目標達成に向けた部会活動 ・取り組み事例の共有と情報交換	・取組目標達成に向けた部会活動支援 ・技術マニュアルの印刷配布